

平成 31 年度（令和元年度）

自己評価表

京葉介護福祉専門学校

1・学校の教育目標 平成31年度 (令和元年度)

- (1) 教育理念：「人間尊重」「自立支援」「地域福祉の確立」に置き、深い思いやりのある心と人間性及び介護・福祉に必要な能力を育成し、社会に貢献する人材の養成に取り組む
- (2) 教育目的：介護福祉士に関する専門的知識及び技能を習得し、職業もしくは実生活に必要な能力を育成し、社会に貢献する人材の養成
- (3) 教育目標：介護福祉のスペシャリストとして下記の錬成を目指し努力する
 - ① 人間愛に根ざした豊かな思いやりを持った「心」
 - ② 介護福祉に情熱を注ぎ専門学識を修めさらに探求する「知」
 - ③ さまざまな障害の克服に貢献する清新な介護の「技能」
 - ④ 勤労を愛し高齢社会を支える健全な逞しい「体」

2・重点目標と対策

(1) 学習指導の充実

- ① 授業時数の確保、毎時の授業を充実させ基礎的学力の向上をはかる。
- ② 指導方法の改善につとめ、適切な評価に結びつける。
- ③ 学習意欲を喚起し、積極的に実践力の修得を図る。
- ④ 国家試験の合格率100%維持

(2) 生活指導の徹底

- ① 退学者・不登校生の対策
専任教員間での共通理解と家庭との連携を強化し個別的指導により徹底を期する。
- ② 集団生活の意義と在り方を理解させ、日常の生活習慣を見直し、介護福祉士志向の人材として、また社会人としての資質向上を図る。

(3) 進路指導の充実

- ・ 就職の意識づけ、就職率100%の達成

(4) 環境整備

- ・ 学校内の清潔・学生の健康への保持

(5) 地域連携を図る

- ・ ボランティア活動等の積極的推進

< 自己評価報告書 >

1. 教育理念・目標

評価項目	評価	
1) 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	適切	・校則等で定められ、パンフレットや学生便覧に明確化されている
2) 学校における職業教育の特色は何か	適切	・「校訓」の「心・技・体・知」を柱として、介護人材の育成と社会性を養うという方針がある
3) 社会ニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	ほぼ適切	・日本人における人材育成は行っている。今後留学生の育成を行っていく予定である
全 体	適切	・介護人材育成に向けて努力をしている

2. 学校運営

1) 目的などに沿った運営方針が策定されているか	適切	・運営方針は策定されている
2) 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	適切	・事業計画は策定されている
3) 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか、有効に機能しているか	ほぼ適切	・法人全体での運営
4) 人事、給与に関する規定などは整備されているか	適切	・整備されている
5) 教務・財務などの組織整備など意思決定システムは整備され業務の効率化が図られているか	ほぼ適切	・業務の効率化において話し合う場が少ない
全 体	ほぼ適切	・運営に関する共通認識する場が少ない

3. 教育活動

1) 教育理念、育成人材像や業界のニーズをふまえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	適切	・授業概要を作成し、教育到達レベルや学習時間の確保はされている
2) 学科などのカリキュラムは体系的に編成されているか	適切	・編成されている
3) キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	ほぼ適切	・介護人材の育成をふまえ、ボランティアや介護実習を行っている
4) 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	適切	・選択科目も介護実践に関するものを取り入れている
5) 授業評価の実施・評価体制はあるか	ほぼ適切	・授業評価を行っているが、次の授業に活かされていない部分がある
6) 成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	ほぼ適切	・記入は明確にはされているが、学生の状況に合わせて対応している
7) 資格取得などに関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	適切	・国家試験対策など資格取得に向けた指導体制をカリキュラムの中に位置づけられている
全 体	適切	・学科の就業年数に対応した、教育方法や対策がされている

4・教育成果

1) 就職率の向上が図られているか	適切	・就職についてのガイダンス開催し、学生との相談に応じ対応している
2) 資格取得率の向上が図られているか	適切	・試験対策講座の時間を設けたり、個人的指導を行い、全員合格を目指し実施している
3) 退学率の低減が図られているか	ほぼ適切	・学生と面談を重ね、休学等学生の状態に応じた対応をしている
4) 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	普通	・卒業生全員の把握はできていない
全 体	ほぼ適切	・学生の個性に合わせた対応はできている

5・学生支援

1) 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	適切	・情報を提供し、個別に対応している
2) 学生相談に関する体制は整備されているか	適切	・いつでも相談できるようにし、個別に対応している
3) 学生に対する支援体制は整備されているか	適切	・学校職員全体で情報を共有している
4) 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	適切	・看護教員を中心に、職員全体で健康管理を意識し行っている。
5) 課外活動に対する支援体制は整備されているか	適切	・ボランティア活動の推進、保険の加入等安全面を考えながら実施している
6) 学生の生活環境への支援は行われているか	ほぼ適切	・自宅から通っている学生が多く、必要に応じて支援を行っている。
7) 保護者と適切に連携しているか	適切	・必要に応じて保護者と連絡を取り合い、学校で面談をしたりしている
8) 卒業生への支援体制はあるか	適正	・再就職や卒業生の会の活動を支援している
全 体	適正	・個々の学生の状況を踏まえ支援できている

6・教育環境

1) 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	普通	・インターネットやwi-fi 環境の整備が不十分である
2) 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修などについて十分な教育体制を整備しているか	適切	・介護実習を行う施設等十分な体制を整えている
3) 防災に対する体制は整備されているか	適切	・毎年防災訓練を行ったり、消防署の点検等行い、学校内の防災対策はできている。
全 体	ほぼ適切	・インターネットなどの環境整備が必要である

7・学生の受入れ募集

1) 学生募集活動は適正に行われているか	適切	・高校訪問やガイダンスに参加したり、学校説明会を開催している
2) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	適切	・伝えられていると思うが、ガイダンスや学校説明会への参加者が少ない
3) 学納金は妥当なものとなっているか	適切	・入学金・授業料等含め妥当である
全 体	適切	・学生数はなかなか増えていかない現状がある。

8・財務

1)	中長期的に法人の財務基盤は安定しているといえるか	適切	・安定してる
2)	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	ほぼ適切	・現状の収支では妥当である
3)	財務について会計監査適正に行われているか	適切	・毎年必ず第三者による監査を行っている
4)	財務情報公開の体制整備はできているか	ほぼ適切	・一部公開になっている
	全 体	ほぼ適切	・財務基盤は安定していないが、現状に対しての予算・収支計画は妥当なものになっている

9・法令などの遵守

1)	法令・専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がされているか	適切	・法令に沿って運営されている
2)	個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	適切	・個人情報は保護している
3)	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	ほぼ適切	・改善できることは行っている
4)	自己評価結果を公開しているか	ほぼ適切	・閲覧できるようになっている
	全 体	ほぼ適切	・法令に沿って運営されている

10) 社会貢献・地域貢献

1)	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	適切	・校舎や物品等の貸し出しを行っている
2)	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	適切	・学生にはボランティア活動を奨励している
3)	地域に対する公開講座・教育訓練の受託などを積極的に実施しているか	ほぼ適切	・委託訓練生の受入れをしている
	全 体	適切	・多くはないが、学校設備などを活かし貢献している

< 総合的な課題と改善策 >

<課題>

- 1・ 学生指導において、個々の学生の能力を把握し、その学生に沿った学習方法を考え対応をしていく必要がある。
- 2・ 社会状況からも学生の確保は厳しさを増している。募集状況については、教員を含め職員全体が共通認識をし、継続的に取り組むことが求められる。
- 3・ 高校訪問等に積極的に教員も行き、介護職の魅力を伝えていく必要がある。
- 4・ 地域貢献や社会貢献の場が少ないため、介護に関する情報提供や介護講座を開催するなど考えていく必要がある。

<改善策>

- ・ 学生ひとり一人の状況を把握し、本人と話をしながら学習意欲の向上を図っていく
- ・ 学校運営に関しては、本部を含め職員全体で考えていく。
- ・ 学校設備において、インターネット環境を整え、勉強や就職活動に活かせるようにしていく。